

地域の実情と課題

- ・大阪・関西万博の開催
2025年4月13日(日) - 10月13日(月)の間、大阪 夢洲(ゆめしま)において、2025年大阪・関西万博が開催される。
- ・男女の固定的な性別役割分担意識に関し、関西女性活躍マップから、仕事と家庭のケアの両方を担っていると推測される。

事業の特徴

- ・大阪府はSDGs先進都市をめざしており、また2025年に開催される大阪・関西万博(以下「万博」という。)はSDGsゴールの実現を目標の一つとして掲げていることから、万博に関連した女性活躍推進イベントを実施。
- ・令和6年9月6日(金)・7日(土)に開催する「ドーンdeキラリフェスティバル2024」と同日に実施。
- ・「OSAKA女性活躍推進月間」(9月)のメインイベントとして実施

事業の効果

- ・幅広い層に女性活躍推進を呼びかけ、SDGsゴールの1つであるNo.5「ジェンダー平等の実現」に寄与した。

【効果検証】

トークイベントの参加者数(来館500名、アーカイブ配信500名)
:未達成(来館102名、アーカイブ配信63名)

目的・目標

- ・目的
SDGsゴールの実現を目標の一つとして掲げている2025年大阪・関西万博に関連した女性活躍推進イベントを行うことにより、SDGsゴールの1つであるNo.5「ジェンダー平等の実現」に寄与する。
- ・目標:達成状況
トークイベントの参加者数:未達成 ※実績は「事業の効果」に記載
(原因として、ハードルの高いテーマ設定だったことが挙げられる)

連携団体

- ・OSAKA女性活躍推進会議
構成団体:大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局、特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、日本労働組合総連合会大阪府連合会
- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

今後の課題

- ・2025年の万博開催年までの間、9月の「OSAKA女性活躍推進月間」の関係行事として実施し、事業①と連携しながら、開催地大阪において、オール大阪で女性活躍推進、またSDGsゴール達成をめざす万博開催の機運醸成に取り組んでいくことが必要。
- ・幅広い層の方が参加できる取組となるよう工夫していく。

事業の概要

令和6年度「OSAKA女性活躍推進 ドーンdeキラリ フェスティバル2024 with万博」を開催

女性と男性がともに理解し合い、そのギャップが埋まる新たな未来に向けて、その第一歩を生むトークショーを実施。

いよいよ迎える2025年大阪・関西万博に向けて、ジェンダー平等の実現や、万博へ抱くそれぞれの期待感なども、ともにディスカッションした。

実施概要

時期：令和6年9月7日（土）

会場：ドーンセンター

主催：大阪府、OSAKA女性活躍推進会議

主なプログラム内容

「分かち合い、ともに描く未来デザイン」

【第1部】基調講演 13時30分～14時10分

登壇者：西 史織 氏（株式会社ステルラ 代表取締役）、
石川 勝 氏（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
会場運営プロデューサー）

内容：女性が活躍し生きやすい未来社会について、
万博の魅力について 等

【第2部】トークセッション 14時25分～15時35分

登壇者：優木 まおみ 氏（タレント/モデル ※オンライン出演）
×西 史織 氏×来場者のみなさん

内容：万博テーマに沿った現状課題
「女性視点の課題とジェンダー平等」について 等

